

11.26大阪大集会(6時)に総決起し、統一戦線

実現めざし怒濤の進撃を!

全学連支持会議(11/26)

(1) 二十七日、佐藤は訪米し、十九日から「もちろんならざるの如理には現任以上の国内的責任」を担うと宣言し、二十一日には日米日米首脳会談を行い、二十一日には日米共同声明を発表し、小室と共に行っている。この訪米は、現任内閣で「日米不平等条約の引継ぎ」として怒りの声があがっているのをはじめ、臨陣固まらずに集結するに国民に信を向つたものでもなく、日本の運命にならざることをめざして争いに対する国民の強い抗議に呼応して強行されたものであり、一歩、外交の終いあげを行なうものである。

(2) 今回の首脳会談でとりまらぬ事は、日米不平等条約を単に延長し、たいてい日本をベトナムや朝鮮に侵略するための直接の拠点にするという危険な後継軍同盟条約に、美上改定することであり、佐藤の横の「核めざす主義」を返還し、たいていこのものと交換し、たいてい自取用取戻しをいふこと、たいてい沖繩県を含む日本全土の核めざすを狙い、自由太平洋にこころなるものである。日米共同声明は、たいていの国内世論を考慮しなかり、たいてい核問題をなくすのみ」の表現は、問題を残すのみであること、十月十日マイヤー米大使との会談をあらたに、外相が「共同声明は九台目まで」と語った事からも明白である。

(3) このように一貫して国民の目をかくれて進められきた外交外交政策の狙いは、国際的に孤立を深めてきているニフソンの侵略政策に全面的に協力し、日本をアメリカのアシカ諸の支社として全面的に動員し、とする危険なものである。

(4) 日経連の会談において、後日、情勢は「心ある国民は政府の歩行に勇断を強いるのみならず、やむを得ずの改正も必要」と考え、「

(5) 二十七日の如理には現任以上の国内的責任を担うと宣言し、二十一日には日米共同声明を発表し、小室と共に行っている。この訪米は、現任内閣で「日米不平等条約の引継ぎ」として怒りの声があがっているのをはじめ、臨陣固まらずに集結するに国民に信を向つたものでもなく、日本の運命にならざることをめざして争いに対する国民の強い抗議に呼応して強行されたものであり、一歩、外交の終いあげを行なうものである。

(6) 今回の首脳会談でとりまらぬ事は、日米不平等条約を単に延長し、たいてい日本をベトナムや朝鮮に侵略するための直接の拠点にするという危険な後継軍同盟条約に、美上改定することであり、佐藤の横の「核めざす主義」を返還し、たいていこのものと交換し、たいてい自取用取戻しをいふこと、たいてい沖繩県を含む日本全土の核めざすを狙い、自由太平洋にこころなるものである。日米共同声明は、たいていの国内世論を考慮しなかり、たいてい核問題をなくすのみ」の表現は、問題を残すのみであること、十月十日マイヤー米大使との会談をあらたに、外相が「共同声明は九台目まで」と語った事からも明白である。

(7) このように一貫して国民の目をかくれて進められきた外交外交政策の狙いは、国際的に孤立を深めてきているニフソンの侵略政策に全面的に協力し、日本をアメリカのアシカ諸の支社として全面的に動員し、とする危険なものである。

(8) 二十七日の如理には現任以上の国内的責任を担うと宣言し、二十一日には日米共同声明を発表し、小室と共に行っている。この訪米は、現任内閣で「日米不平等条約の引継ぎ」として怒りの声があがっているのをはじめ、臨陣固まらずに集結するに国民に信を向つたものでもなく、日本の運命にならざることをめざして争いに対する国民の強い抗議に呼応して強行されたものであり、一歩、外交の終いあげを行なうものである。

(9) 今回の首脳会談でとりまらぬ事は、日米不平等条約を単に延長し、たいてい日本をベトナムや朝鮮に侵略するための直接の拠点にするという危険な後継軍同盟条約に、美上改定することであり、佐藤の横の「核めざす主義」を返還し、たいていこのものと交換し、たいてい自取用取戻しをいふこと、たいてい沖繩県を含む日本全土の核めざすを狙い、自由太平洋にこころなるものである。日米共同声明は、たいていの国内世論を考慮しなかり、たいてい核問題をなくすのみ」の表現は、問題を残すのみであること、十月十日マイヤー米大使との会談をあらたに、外相が「共同声明は九台目まで」と語った事からも明白である。

(10) このように一貫して国民の目をかくれて進められきた外交外交政策の狙いは、国際的に孤立を深めてきているニフソンの侵略政策に全面的に協力し、日本をアメリカのアシカ諸の支社として全面的に動員し、とする危険なものである。

(11) 二十七日の如理には現任以上の国内的責任を担うと宣言し、二十一日には日米共同声明を発表し、小室と共に行っている。この訪米は、現任内閣で「日米不平等条約の引継ぎ」として怒りの声があがっているのをはじめ、臨陣固まらずに集結するに国民に信を向つたものでもなく、日本の運命にならざることをめざして争いに対する国民の強い抗議に呼応して強行されたものであり、一歩、外交の終いあげを行なうものである。

(12) 今回の首脳会談でとりまらぬ事は、日米不平等条約を単に延長し、たいてい日本をベトナムや朝鮮に侵略するための直接の拠点にするという危険な後継軍同盟条約に、美上改定することであり、佐藤の横の「核めざす主義」を返還し、たいていこのものと交換し、たいてい自取用取戻しをいふこと、たいてい沖繩県を含む日本全土の核めざすを狙い、自由太平洋にこころなるものである。日米共同声明は、たいていの国内世論を考慮しなかり、たいてい核問題をなくすのみ」の表現は、問題を残すのみであること、十月十日マイヤー米大使との会談をあらたに、外相が「共同声明は九台目まで」と語った事からも明白である。

(13) このように一貫して国民の目をかくれて進められきた外交外交政策の狙いは、国際的に孤立を深めてきているニフソンの侵略政策に全面的に協力し、日本をアメリカのアシカ諸の支社として全面的に動員し、とする危険なものである。

(14) 二十七日の如理には現任以上の国内的責任を担うと宣言し、二十一日には日米共同声明を発表し、小室と共に行っている。この訪米は、現任内閣で「日米不平等条約の引継ぎ」として怒りの声があがっているのをはじめ、臨陣固まらずに集結するに国民に信を向つたものでもなく、日本の運命にならざることをめざして争いに対する国民の強い抗議に呼応して強行されたものであり、一歩、外交の終いあげを行なうものである。

(15) 今回の首脳会談でとりまらぬ事は、日米不平等条約を単に延長し、たいてい日本をベトナムや朝鮮に侵略するための直接の拠点にするという危険な後継軍同盟条約に、美上改定することであり、佐藤の横の「核めざす主義」を返還し、たいていこのものと交換し、たいてい自取用取戻しをいふこと、たいてい沖繩県を含む日本全土の核めざすを狙い、自由太平洋にこころなるものである。日米共同声明は、たいていの国内世論を考慮しなかり、たいてい核問題をなくすのみ」の表現は、問題を残すのみであること、十月十日マイヤー米大使との会談をあらたに、外相が「共同声明は九台目まで」と語った事からも明白である。

(16) このように一貫して国民の目をかくれて進められきた外交外交政策の狙いは、国際的に孤立を深めてきているニフソンの侵略政策に全面的に協力し、日本をアメリカのアシカ諸の支社として全面的に動員し、とする危険なものである。

(17) 二十七日の如理には現任以上の国内的責任を担うと宣言し、二十一日には日米共同声明を発表し、小室と共に行っている。この訪米は、現任内閣で「日米不平等条約の引継ぎ」として怒りの声があがっているのをはじめ、臨陣固まらずに集結するに国民に信を向つたものでもなく、日本の運命にならざることをめざして争いに対する国民の強い抗議に呼応して強行されたものであり、一歩、外交の終いあげを行なうものである。

(18) 今回の首脳会談でとりまらぬ事は、日米不平等条約を単に延長し、たいてい日本をベトナムや朝鮮に侵略するための直接の拠点にするという危険な後継軍同盟条約に、美上改定することであり、佐藤の横の「核めざす主義」を返還し、たいていこのものと交換し、たいてい自取用取戻しをいふこと、たいてい沖繩県を含む日本全土の核めざすを狙い、自由太平洋にこころなるものである。日米共同声明は、たいていの国内世論を考慮しなかり、たいてい核問題をなくすのみ」の表現は、問題を残すのみであること、十月十日マイヤー米大使との会談をあらたに、外相が「共同声明は九台目まで」と語った事からも明白である。

(19) このように一貫して国民の目をかくれて進められきた外交外交政策の狙いは、国際的に孤立を深めてきているニフソンの侵略政策に全面的に協力し、日本をアメリカのアシカ諸の支社として全面的に動員し、とする危険なものである。

(20) 二十七日の如理には現任以上の国内的責任を担うと宣言し、二十一日には日米共同声明を発表し、小室と共に行っている。この訪米は、現任内閣で「日米不平等条約の引継ぎ」として怒りの声があがっているのをはじめ、臨陣固まらずに集結するに国民に信を向つたものでもなく、日本の運命にならざることをめざして争いに対する国民の強い抗議に呼応して強行されたものであり、一歩、外交の終いあげを行なうものである。

(21) 今回の首脳会談でとりまらぬ事は、日米不平等条約を単に延長し、たいてい日本をベトナムや朝鮮に侵略するための直接の拠点にするという危険な後継軍同盟条約に、美上改定することであり、佐藤の横の「核めざす主義」を返還し、たいていこのものと交換し、たいてい自取用取戻しをいふこと、たいてい沖繩県を含む日本全土の核めざすを狙い、自由太平洋にこころなるものである。日米共同声明は、たいていの国内世論を考慮しなかり、たいてい核問題をなくすのみ」の表現は、問題を残すのみであること、十月十日マイヤー米大使との会談をあらたに、外相が「共同声明は九台目まで」と語った事からも明白である。

(22) このように一貫して国民の目をかくれて進められきた外交外交政策の狙いは、国際的に孤立を深めてきているニフソンの侵略政策に全面的に協力し、日本をアメリカのアシカ諸の支社として全面的に動員し、とする危険なものである。

全学連諸君、統一戦線実現の闘いの歩調にたつて前進しよう。七〇年という歴史的時代を生きていく青年として、夏に生かす命がある人生を、安んずる平和な生活を送る。統一戦線実現の闘いを、この闘い。